

粟国村浜方言の動詞活用資料

仲原 穰 (琉球大学)

1. 調査対象

粟国島の言語データは、沖縄県島尻郡粟国村「浜」出身の S.C 氏¹、「東」出身の S.S.氏²の執筆者による面接調査に基づいている（※右の図の★印は「浜」、◆印は「東」である³）。今回の報告は「浜」の S.C 氏のデータである。

粟国島の人口は 693 人（男 370 人、女 323 人）であり、世帯数は 434 世帯である。（令和 3 年 1 月 31 日現在。データは粟国村ホームページを参照した）

粟国島は面積 7.65 ㎡で島の周囲が約 12km の扇形の島である。島の南西に「真鼻(マハナ)」という標高 95.8m の崖があり、島の東側へ向かって次第に低くなっている。島へのアクセスは、粟国島フェリーで那覇泊港より一日一往復、片道約 2 時間である。

2. 調査の進捗状況

今年度は調査に行くことができなかったため、昨年度に調査した「浜」の「舟を漕ぐ」調査までを文字化し、報告する（一部、聞けなかった例文もある）。なお、調査票「食べる」「煮る」「来る」は「浜」では未調査である。

3. 音声の特徴

粟国島のことばは、北琉球の沖縄語の一つであり、音韻・文法ともに沖縄本島中南部に類した言語である。ただし、日琉祖語の「わ行」の「を」／「ゐ」「ゑ」が、首里方言や那覇方言では「ウ」／「イ」「ウィ」に対応するのに対し、「浜」では「フンチュー（おじ）」、「フー?ンマ（雄馬）」、「フガミ（拌み）」、「フッティー（一昨日）」／「ヒナグ（女）」、「ヒトーン（もらう）」のように「フ」／「ヒ」のようにハ行に対応するという特徴がある。

参考文献

琉球方言研究クラブ[編・発行](2018)『粟国村西集落方言の音韻体系とリズム=アクセント的構造』

¹ S. C 氏は大正 15(1926)年粟国村浜集落の生まれである。昭和 17 年から 19 年まで大阪の工場働き、昭和 19 年に島に戻った。その後は調査日時まで粟国村浜在住である。

² S. S 氏は昭和 2 年(1927)年粟国村東集落の生まれである。昭和 18 年から 20 年まで大阪で働き、昭和 20 年に島に戻った。その後は調査日時まで粟国村東在住である。

³ 「国土地理院」(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>) を元に報告者が作成した。

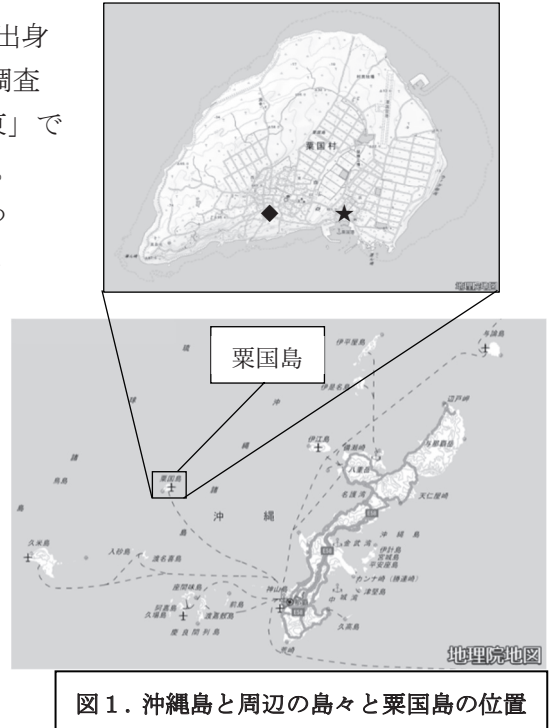


図 1. 沖縄島と周辺の島々と粟国島の位置

	【栗国島・浜方言】 大正 15 (1926) 年浜生まれ。(2019 年 9 月 27 日/12 月 27 日調査)	
1-1	どこでも男がハーリーは漕ぎますよ。	マー' ウトーティヤティン ' イキガヌドゥ ハーリーヤ クジャビーンドー。
1-1	どこでも男がハーリーは漕ぎますよ。	マー' ウトーティヤティン ' イキガヌドゥ ハーリーヤ クジャビーンドー。
2-1	若いとき、みんなで舟は漕いだよ。	ワカサルウチ、インナシャーイ フネー クジャンドー。
3-1	今でも女は舟は漕がないよ。	ナマヤティン ヒナグンチャーヤ フネー クガンドー。
4-1	今日は手が痛いので、舟は漕げない。	チューヤ ティーガ ヤミグトウ フネー クジェーウーサン。
5-1	病気が治ったから、舟は漕げる。	ヤンメーガ ノータグトウ、フネー クガリーンドー。
6-1	明日も行く。	アチャーン イチュン。
7-1	父は、明日、天気が悪いから海へは行けない。	スーヤ、アチャー、テンキヌ ワチャグトウ ウミカイェー イカラン。
7-2	私は行かないよ。	ワネー イカンドー。
8-1	昼間は仕事をして、夜は遊びに行く。	ヒルマー シグチ ソーティ、ユルヤ アシビーガ イチュン。
8-2	昨日、遊びに行っているよ。	チヌー アシビーガ ?ンジョーンドー。
9-1	今日は叔父が那覇から来るから。	チューヤ フジャサーガ ナーファカラ チューグトウ。
10	叔母は来ない。	バーチャーヤ クーン。
11-1	祖父が叔父に電話をしないとこに來いと話しをしているよ。	オジーガ フンチューンカイ デンワ シ、イチュクンカイ クーヨーディチ ハナシー ソーンドー。
12-1	孫たちも「来させる」としているよ(ようにしているよ)。	ンマガンチャーン クラスンディチ ソーンドー。

12-2	来たいのなら 来いよ。	チーブサラー クーヨー。
13	叔父もいとこもバスから来た。	フジャサーン イチュクン バスカラ チャーン ドー。
14-1	崖の側は危ないから、子どもは来るな。	タカサラハラー ワラビンチャーヤ アブナサグ トゥ ?ンジェー ナランドー。
15-1	5月はよく雨降っているねえ。	グングァチェー ユー アメー フトーンヤー。
16-1	12月は雨は降らないよ。	シワーシェー アメー フランドー。
17	昨日、大雨が降った。	チヌー、 ウーアミガ フタンドー。
18-1	あ、雨 降ってしまった。	ダー、アメー フタル ムン。（「フタンドー」 も使用可能）
19-1	大雨が降って、橋が流されたよ。	ウーアミヌ フヤーイ、ハシガ ナガリタンド ー。
20	太郎は毎日学校の前で降りるよ。	タローヤ メーニチ ガッコーヌ メーンジ ウ リランドー。
21-1	友人たちがさきにバスを降りたよ。	ドウシグァーンチャーガ サキニ バスカラ ウ リタンドー。
22	このバス停では誰も降りない。	ウヌ バステーンリネー ターン ウリランド ー。
23-1	熟したら、桑の実は自然に落ちる。	ジユクシーネー クァーギヌミーヤ ドウークル ウティーンドー。
23-2	木を動かしたら、落ちるぞ。	キー ?ンジュークフィーイネー ウティーンド ー。
24-1	青いものは木を揺らしても、落ちないよ。	オーサル ムノー キー ?ンジュカチン ウテ ィランドー。
25-1	木を揺らしたら、落ちるよ。／落ちた。	キー ?ンジュークフィーイネー ウティーンド ー。／ウチタン。
26	オスの馬もメスの馬も人を蹴るぞ。	フー?ンマン ミー?ンマン ッチュ キーンド ー。

26-2	おとなしい馬だけだね。人を蹴るよ。	ウトウナサヌ ?ンマヤシガヤー、ツチャー キーンドー。
27	おとなしい馬は人を蹴らない。	ウトウナサヌ ?ンマノーヤ チャー キランドー。
28-1	彼は昔はおとなしかったが、今はやんちゃだろうよ。	クレー ンカシェー ウトウナサタシガヤー、ナマー ヤンチャハジ。
29-1	去年買ったものなのに捨てるの？	クジュ コーテーシ ムンドウ ヤルムンヌ ヒティーンナー。
29-2	父が去年買ったのだよ。	オトーサンガ クジュ コーテーシ デーンドー。
30-1	まだ使えるのにどうして捨てたのか？	ナマ チカーリール ムンヌ ヌーンディチ ヒティタガ？
31-1	祖母はどんなに古くなくても、物は捨てないよ。	パッパヤー チャッサ フルク ナティン ムノー ヒティランドー。
32-1	父は壊れたから弟に捨てさせた。	スーヤ ヤンジタグトウ ウットウンカイ ヒティラチャン。
32-2	私は自分では捨てたくないからね、君は、ごみは捨ててきてくれ。	ワンネー ドウークロー ヒティブシクコー ネーングトウヤ、ウラー、グメー ヒテティツクイレー。
32-3	私はそれは好きではないからね、君は捨ててきてくれ。	ワネー クレー シカングトウヤ ウラー ヒティティツクイレー。
33-1	誰にもわからないように物は捨てて、ないものとした。	ターニン ワカラングトウーシ ムノー ヒティティ、ネーンナチャン。
33-2	誰にも聞かないようにして 捨てた。	ターンカイツティ チカングトウッシ ヒティタン。
34-1	ノコギリで枯れている木を 切った。	ヌクジリシャーイ カリトール キーヤ チッチャン。
35-1	きのう枯れた木の枝を切った。	キヌー カリトウヌ キーヌ ヌダ チッチャン。
35-2	私が自分一人ではできないから、おじさんが手伝って木は切ったよ。	ワンガ ドウーチュイシェー ナラングトウ、フンチューシーティ キーヤ チッチャンドー。
36-1	一緒に 切ってくれたよ。	マジョーイ チッチクィタンドー。

37-1	ガジュマルはこわいから、誰も切らないよ。	ガジマロー ウトゥルサグトゥ、ターン チランドー。
38-1	穴はスコップで掘ったよ。	アナー スコップシャーイ フタンドー。
39-1	お父さんが穴掘りはするよ。お母さんがは、それは掘らないよ。	スーガ アナーフリスシェー、アンマーガー、ウレー フランドー。
39-2	お父さんは掘るけど、お母さんは掘らない。	オトーガドゥ クレー フラリーグトゥ、アンマーガー ナラン。
40-1	二人で深い穴を掘った。	?タイシ フカサル アナ フタン。
41	お父さんに頼んで兄さんにも掘らさせた。	スー タルマーイ ヤッチーンカイ フラサンドー。
42-1	木の実が熟したけど、父は自分では落とせない。	キーヌ ナイヌ ンジョーシガ、スーヤ ドウー クルシェー ウトゥシェーウーサン。
43	祖父が父に言いつけて兄に木の実を落とさせた。	NR
44-1	父が子どもに命令して、木の実を落とさせたよ。	スーガ フラビンカイ イーチキティ、キーヌミーヤ ウトゥシミタンドー。
45-1	兄が木の実を全部落とした。	ヤッチーガ キーヌミーヤ ムル ウトゥチャンドー。
46-1	荷物は外に出す。	ニーヤ フカンカイ ?ンジャスンドー。
46-2	掃除の時には荷物を外に出す。	ヤーヌ ソージシール トウキネー、ニーヤ フカンカイ ?ンジャチョーン。
47-1	外に出して掃除はするんだよ。	フカンカイエー ?ンジャチル ソージェー スンドー。
47-3	弟／台所／出した。	ウットウ／トウングア/?ンジャチャン。
48-1	祖母が嫁に言いつけてホースで水を流させた。	パッパーガ ユミンカイ イーチキティ、ホースサーイ ミジェー ナガラチャンドー。
49-1	母が自分の子にホースで水を流させるよ。	オカーサンガ ドウーヌ クアンカイ ホースサーイ ミジェー ナガラシヨー。

50	父が兄に言いつけて祖父を起こさせた。	NR【再調査】
51	父が兄に寝ている祖父を起こさせた。	NR【再調査】
52	兄が寝ていた祖父を起こした。	NR【再調査】
53-1	右手でお箸を持つよ。	ニジリティーシ メーシェー ムチュンドー。
53-2	弟は左手で食事を食べるけど、右手でお箸を持ってるよ。	ウットー ヒジヤイティーシェー ムヌ カムシガ、オハシヌ トウチェー ニジリティーシ メーシェー ムッチョーン。
54-1	汁鍋はこぼれやすいから、片手では持つな。	シルナーベー クブリヤッサグトゥ、カタティーサーイ ムタングトウッシ ターチヌ ティーツシ ムチヨー。
55-1	おにぎりの入った重箱はお母さんが持った。	ジューバクニ イツチル ムノー アンマーガ ムッチャン。
55-2	おにぎりの入った重箱はお母さんが持った。	ニジティ ジューバクンカイ イリール バー。
56-1	おばあさんにはお願いしてお茶もおばあさんが持ってきた。	オバーンカイ ウニゲーサーニ チャーン オバーガ ムッチャン。
56-2	おばあさんが お茶を 持ってきて 供えているよ。	オバーガ チャー ムッチッチ ウサギトードー。
56-3	持っていたらしゃった。	ムッチモーチャン。
57	おじいさんにはムシロを持たせる。	NR【再調査】
57-1	おばあさんが おじいさんに ムシロを 持っていってくれ…	パッパーガ [?] ンメーンカイ ムシロー ムッチクイリ…。
57-2	あいつに、ほら、持たせろ。	アリンカイ トー、ムタシェー。
58	重いけどもって持てる？	クレー [?] ンブサシガヤー。ナー ウフィグァー ムッチユースンナー？
59	あと一つだったら持てる。	ナー ティーチマディヤレー ムタリーンドー。

60	いつも豚肉はお父さんが買う。	イッチンヤー、スーガ [?] ワーヌ シシエー コーユンドー。
61-1	私には何も買わないよ。	ワンヌカイエー ヌー コーランドー。
61-2	豚肉以外は何も買わないでよ。	[?] ワーシシ フカネー コーランキョー。
62-1	昨日は野菜を買ったけど、今日は野菜は買わないよ。	チヌーヤ ヤーシエー コータシガ、チューヤ ヤーシエー コーランドー。
62-2	お父さんは今日は野菜を買わなかったよ。	スーヤ チューヤ ヤーシエー コーランタンドー。
63-1	明後日が給料日だから、明後日買おうね。	アサティガ キューリョービ ヤクトウ、アサティ コーラヤー。
63-2	明日は何も買わなくてもいいよ。	アチャー ヌーンコーランティン シムンドー。
63-3	今日はお金が無いから、明後日買おうね。	チューヤ ジンヌ ネーラングトウ、アサティ コーラヤー。
64-1	明後日だったら欲しいものが買える。	アサティ ヤレー ドゥーナヌ フサル ムノー コーラリーンドー。
64-2	買いたい物が買いやすい(たやすく買える)。	コーシガ、ドゥー ヤッサンドー。
65-1	お父さんは取ってきた魚を売る。	ドゥークル トウッティチャール イヨー ドゥークル ウユンドー。
65-2	お父さんは海から魚を獲ってきたけど、その魚は売ろうね。	オトーヤ ウミカラ イユ トウッティチャーシガ、ウヌ イヨー ウラヤー。
66	きょうは魚が少ないから、売らない。	チューヤ イユ イキラサグトウ ウランドー。
67	昨日は私が取ったイカとタコを売った。	チヌーヤ ワンガ トウッティチャール イチャトウ タク ウタンドー。
68-1	安く売ってください。	ヤシク ウティクイミソーリ。
69-1	おばあちゃんが私にいつも小遣いをあげているよ。	オバーガ ワンヌカイ チャー コズカイグァークィトーンドー。

70	今日は弟にも 1000 円くれた。	チューヤ ウットウンカイン センエノー クイ タンドー。
71-1	おじいちゃんは何もくれないよ。	?ンメーヤ ヌーン クイランドー。
72-1	いつも漁師から魚はもらっているよ。	イッチン ウミンチューカラ イヨー ヒトーン ドー。
73-1	小さいカニは誰ももらわない。	グマサル ガニグァー ターン ヒランドー。
74	隣の家から大根ももらった。	トゥナイカラ デークニン ヒタンドー。
75-1	アオサをたくさんもらったけど ね、みんなに分けてあげた。	ンマサ チャッサン ヒタシガヤー、インナンカ イ ワキティクイタンドー。 ※粟国島には「もずく」はない。
76	喉が乾いたら水を飲む。	ヌディーガ カーラチ ミジグァー ヌダンド ー。
77-1	私の父は酒を飲まない。	ワッター スーヤ サケー ヌマンドー。
78-1	叔父さんは病気だから、酒が飲み たくても飲まない。	フンチューヤ ビョーキ ムッチョーグトウ サ ケー フサーアシガ ヌマンドー。
79	ここの井戸水は飲める。	?ンマヌ カーヌ ミジュー ヌマリンドー。
80-1	お母さんが入れたお茶はたくさん 飲んだよ。	アンマーガ イツタル チャーヤ ウフォーク ヌダンドー。
81-1	車に乗るなら酒は飲むなよ。酒を 飲んだら運転したら大変だよ。飲 むなよ。	クルマンカイ ヌイル ムン ヤラバ、サケー ヌムナヨー。サキグァー ヌミーネー ウンテン シーネー デージドー。ヌマンドー。
82-1	お母さんは赤ちゃんにおっぱいを 飲ませてあげた。	アンマーヤ アカンボーンカイ チーヤ ヌマチ ヤンドー。
83-1	山羊もね、ウシもね、草を食う よ。	ヒージャーンヤー、ウシンヤー、クサー クワイ ンドー。
84-1	濡れた草は食わない。	?ンジタル クサー クァーンドー。
85-1	家にいる猫が魚を食べた。	ヤーニ フル マヤーガ イユ クワタンドー。

86-1	父が取った魚を猫に食われたのに。	スーガ トウツティチャール イヨー、マヤーン カイ クァータル ムン。
87-1	私の子どもは毎日暗くなるまで、 そこで遊ぶ。／遊んだ。	ワッター クァー メーニチ クラクナイルマデ イ、 [?] ンマンジ アシブンドー。／アシダン。
88-1	暗くなったら、誰も遊びにでない よ。／遊ばない。	クラクナイネーヤー、ターン アシビーガ [?] ン ジランドー。／アシバン。
89-1	昨日は皆で追いかけて遊んだよ。	チヌーヤ インナサーイ ハーエーシ アシダン ドー。
90-1	弟は酒が弱くて、すぐ転倒する。	ウットー サキヌ ヨーサヌ、スグ ケーリクル ビ スンドー。
91	昨日も酒を飲んだので、酔った。	チヌー サキグァー ヌマーイ フィータンド ー。
92	兄はどんなに飲んでも酔わない。	ヤッチーヤ チャッサ サキ ヌディン フィー ランドー。
93-1	彼は酒が弱くて、酔って寝ている よ。	サキヌ ヨーサヌ、フィーティ ニントーンド ー。
94-1	少ししか飲んでいないのに、酔っ て寝ているよ。	イフグァー ヌドーシガ、フィーティ ニントー ンドー。
95-1	汚れているお椀と皿はね、お父さ んが洗ったよ。	ユグリトゥール チャワントゥ サラーヤー、ス ーガ アラタンドー。
96-1	私は兄さんに鍋を洗ってもらっ た。	ニーサヌンカイ ナーベー アラティフィタンド ー。
97	兄さんが私の代わりに洗ってくれ た。	ヤッチーガ ワンカワイ アラティフィタンド ー。
98-1	お母さんは料理を作るから、私は 洗わない。	アンマーヤ リョーリ チュクイグトゥ、ワネー アラランドー。
99	暑いときは帽子をかぶる。	アチサル トウチェー ボーシ カンジュンド ー。
100-1	今はね。誰もくば笠はかぶらない よ。	ナマーヤ、ターン クバガサー カンダンドー。
101-1	昔はね。みんなくば笠もかぶって ぞ 夏は 歩いたよ。／かぶっ た。	ンカシェーヤー、インナ クバガサン カンティ ドゥ ナチェー アッチュタンドー。／カンダ ン。

102-1	子どもたちにはね、帽子を買ってかぶらせたよ。	ワラビンチャーンカイヤーヤ、ボーシ コーティカラ カンシタン。
103-1	私はね、毎年孫たちにお年玉を上げる。／上げた。	ワンネーヤー、メーニン ワラビンチャーンカイオトシダマ キーンドー。／クィタンドー。
104-1	去年はね、みんなに千円ずつ上げたよ、子どもたちに。	クジョーヤー、インナンカイ センエンナー クィタンドー、ワラビンチャーニ。
105-1	来年はね、二千元ずつ上げるよ。	ヤーネーヤ、ワラビンチャーンカイヤ、ニセンエンナー キーンドー。
106-1	お菓子も買ってあげたいよ。	クァーシン コーティクィーブサンドー。
107-1	祖父は毎日6時に起きる。	タンメーヤ メーニチ ルクジナーニ ウキトーンドー。
108-1	夜は9時に寝てね、朝は6時には起きるよ。／起きた。	ユロー クジニ ニンティヤー、アサー ルクジネー ウキーンドー。／ウキタン。
109-1	5時までは誰も起きないよ。	ゴジマデー ターン ウキランドー。
110	高校生は制服を着る	コーコーセーヤ セーフク チーンドー。
111-1	その服は古いから誰も着ない。	ウヌ ヨーフク、フルク ナトーグトゥ ターガン チランドー。
112-1	昔は織ったものを着たんだよ。	ンカシエー フタル ムンドウ チチャンドー。
112-2	昔は自分で織ったよ。	ンカシエー ドウークルシ ジバタ フタンドー。
113-1	その子は二歳になったから自分で服を着ることができる／着れる	クヌ ワラベー ターチ ナタグトゥ、ウヌ ヨーフコードウークル チラリーン。
114-1	むしろにはいとこが座る。	ムシルンカイヤー イチュクヌドゥ ヒーンドー。
115	床にはだれも座らない。	ユカネー ターン ヒランドー。
116	私たちはここに座るから、きみたちは向こうに座れ。	ワッターヤ ² ンマンカイ ヒーグトゥヤー、イッターヤ アマンカイ ユティ ヒレー。

117-1	座ってください。／家にお入りになってください。	ムシルンカイ ヒミソーレー。／ウチンカイ イッティ ヒミソーレー。
117-2	家にお入りになってあがってください。※目上へ	ウチンカイ イミソーヤーイ、アガティクイミソーレー。
117-2	家に入って座れ。※同輩・目下へ	ウチンカイ イッティ、ヒレー。
118	毎日祖父は海を見る。	メーニチ [?] ンメーヤ ウミ ンジュン。
119	最近クジラを見ない。	チカグロー クジラー ンダンドー。
120	昨日クジラを見た。	チヌー クジラ ンチャンドー。
121-1	お前もね、見たかったのなら、どれ、見せたのに。	[?] ヤーンヤー、ンジブサタレー、ダー、ミシータル ムン。
121-1	お前もね、見たかったのなら、どれ、見せたのに。	[?] ヤーンヤー、ンジブサタレー、ダー、ミシータル ムン。
122	「ありがとう」には方言で「～～～～」と言う。	NR【再調査】
122-1	※ 「ありがとう」には方言で何と言うの？	NR【再調査】
123-1	兄は物を言わない（何も言わない）。	ヤッチーヤ ムノー イラン。
124-1	弟に「あやまれ」と言った。	ウットウンカイ 「アヤマリヨーヤー」ンディイチャン。
125-1	兄は弟に「いたずらするなよ」と言って、言ってあるよ。	ヤッチーヤ ウットウンカイ「ガンマレー サンキヨー」ディチ イチェーンドー。
126-1	弟は兄に「ばか」と言ってしまった。	ウットー シージャンカイ 「ばか」ディチ イチシマトーッサー。
126-1	弟は兄に「ばか」と言ってしまった。	ウットー シージャンカイ 「ばか」ディチ イチャル ムン。
127-1	蝉は四、五日で死ぬよ。	アササーヤ シグニチシェー シヌンドー。

128-1	人に「死ぬぞ」って言うてはいけないよ。	チュヌンカイヤー、 [?] 「シヌンドー」ンディチエー イチエー ナランドーヤー。
129-1	ゴキブリは簡単には死なない。	ヒーラーヤ ヨーネー シナンドー。
130-1	去年はひでりでカエルがたくさん死んで居なくなった。	クジョー アミヌ フランナティヤー、アタビーヤ チャッサン シジフランナタン。
130-2	飼っている猫が死んだ。	チカナトール マヤーガヤー、シジャンドー。
131-1	暑くて、家のネコも死んでしまった。	ワッター マヤーヤ シジブランドー。
132-1	この村には栈橋がある。	クヌ ムラネー サンバシヌ アンドー。
133	昔島には製糖工場があった。	ンカシェー サーターコージョーヌ アタンドー。
133-1	馬に 鞍を掛けて、ぐるぐると回らせて、佐藤を作ったよ。	[?] ンマニ クラカキティ、グルグルー マーラチ、サトー チュクヤビタンドー。 ※砂糖工場は「浜」「東」「西」の各集落に1つずつあった。
134	製糖工場のあったところに学校を建てた。／出来たよ。	サーターコージョーヌ アタル トウクルンカイ、ガッコー タティタンドー。／ディキタンドー。
135	お金があればなんでも買える。	ジンヌ アレー ヌーヤティン コーラリーンドー。
136-1	今日はお金が無いから買いたくても買わない。／買うことができない	チューヤ ジノー ネーラングトゥ、コーイブサーアシガ、コーランドー。／コーイシガ ナランドー。
137-1	人の金では買えない。	ツチュヌ トウテー ジンシェー コーラランドー。
137-2	お金があればこそ、命も買えるよ。	ジンヌ アリバドゥ ヌチン コーラリーンドー。
138	有っても喜ぶな。	アティン ユルクブナ。
139	無くても泣くな。	NR【再調査】

139	失っても泣くな。	ウシナティン ナクナ。
140	人間の良し悪しは後でこそ分かる。	フィットウヌ ユシアシヤ アトゥディ シユル。
141	塩がない。	マースガ ネーラン。
142	かまどの上にあったよ	カマヌ [?] ウィーンカイ アタンドー。
143	砂糖もなかった。	サーターン ネーランタンドー。
144	無ければわたしが買ってこよう。	ネーンドウンヤンネー ワーガ コーティ チューサ。
145-1	座敷には人がたくさんいる。	イチバンザーネー ッチュガ チャッサン フグトウ。
145-1	あそこにはいないよ。ここに人はいるから。	アマンカイ フランドー。クマンカイ チョーフグトウ。
146-1	しばらく竈の所（台所の意）にいてください。	イトウチグワー カマヌ トウクルンカイ ンジョーカー。
147-1	つい先ほどまで子供達がいたけど。	キッサマディ ワラビンチャーヌ フタシガ。
147-2	さっきまで人がたくさんいたよ。	ナマサチマディ ッチュヌ チャッサン フタンドー。
148	座敷にいた人たちがみんな帰った。	イチバンザーンカイ フタル ッチャー、キッサケータンドー。
149	みんなかえって今はだれもいない。	インナ ヤーカイ ケーティ、ナマー ターン フランドー。
150-1	若いころは那覇まで歩いた人がいた。	ワカサル ウチェー フニカラ ウチナーマディ ンジャンドー。
150-2	浜から真鼻（地名）の先まで歩いた人がいたよ。	ハマカラ マハナヌ サチマディ アッチャル ッチャー フタンドー。
151	兄はお父さんに言われたら、何でもする。	ヤッチーヤ スーンカイ イラリレー、ヌーヤティン スンドー。

152-1	兄は言わなければ、何もしない。	ヤッチーヤ イラドウンヤレーヌーン サンドー。
153-1	兄はしなさいと言われたから、畑仕事にいったよ。	ヤッチーヤ イラッタグトウ ハタキシグチシーガ ?ンジャンドー。
154-1	おじいさんはお父さんに畑仕事をさせた	?ンメーヤ スーンカイ ハタキシグチ シミタンドー。
155-1	遊ばないで仕事をしろよ。	アシバングトウッシ シグチ シーヨーヤー。
156	木の葉が詰まって溝の水が流れない。	キーヌハーヌ ンジュンカイ タマティ、ミジガナガリランドー。
157-1	お母さんが兄さんに木の葉を取らせて水を流れさせた。	ヤッチーンカイ ソージシミラチ ミジェー ナガリール グトウ ナタンドー。
157-2	お母さんが兄さんに木の葉を取らせて水を流れさせた。	アンマーガ オジーンカイ「ンマヌ ソージシキーヌハー トウツィクィリ」ンディ イチャグトウ、ミジェー ナガリタンドー。
158-1	兄さんは木の葉を取って水は流れるようになった。	キーヌハー トウヤーイ、ミジェー ナガリルグトウ ナタンドー。
159	ようやく（やっと）水が流れた。	ヨーヤク ミジガ ナガリタンドー。
160	この井戸水は飲めない。	?ンマヌ カーヌ ミジェーヌマランドー。
161	誰でもこんなにたくさんのは飲めきれない	クングトウ チャサン アル ミジェー ターヤティンヌミヌミウーサンドー。
162-1	蘇鉄はあくを抜いてこそ食べられるんだよ。	スーティーチャーヤ アクヌギバドゥ カマリールンドー。
162-2	蘇鉄はあく抜きしないと食べられないよ。	スーティーチャーヤ アクヌガネー カマランドー。
163	腐った肉は食べられない。	クサリタル ?ワーシシェー カマランドー。
164-1	ソーキ汁まだ残っているけどあんなは食べれるか？	ソーキジルヤ ナーダヌクトーシガ、ウラーカマリールナー？
165	腹いっぱいだからもうこれ以上は食べきれない。	ワタ ミッチョーグトウヤー、ウリカラ ?ウイーテー カマランドー。

166-1	溢れるくらい注いでくれるなよ。 ／注いでくれ。	アンディール グレー チジェクンナヨー。／ チジクィレー。
166-2	溢れるまで注ぐなよ。	アンディール ウッサー チグナヨー。
167-1	湯が沸くまで待てない。／待ちきれない。	ユース フカン ウチマデー マタランドー。／ マチューウーサン。
167-2	湯が沸くまで待ってくれ。	チャーヌ ユース フチュル ウチェー マッチ クィレー。
168-1	子どもたちには、見せたくなかったけど、見るといって、（拒否）できなくなって見せさせた。	ワラビンチャーネー ミシーブシコーネーランタ シガ、ンジュンディチシ ナランナティ ミシタ ン。
168-1	子どもたちには見せたくなかったけど、見るといって、（拒否）できなくなって、見せさせた。	ワラビンチャーネー ミシーブシコーネーランタ シガ、ンジュンディイチ ナランドウアンディ、 ミシタン。
169-1	三線を弾いて友だちに聞かそうとしてるだろうよ。	サンシン ヒチャーイ ドウシンチャーニ チカ スンディチドウ ヤンドー。
170	おととい買った服を赤ちゃんに着せる。	フッティー コータル チノー ボージャーグア ーンカイ クシーン。
171-1	おばあさんは自分が買った服を赤ちゃんに着せさせようとしているんよ。	パッパーヤ ドゥーヌ コータル チノー、ボー ジャーグアーンカイ クシリンドウ ヤンド ー。
171-2	洋服は買ったけど、着られないから、あなたで子どもたちに着せなさい。	ヨーフコー コータシガヤー、チララングトウ ウラサーイ ワラビンチャーンカイ クシレー。
171-3	祖母が自分で着せたいと言って買った。	パッパーガ ドゥーガ クシーンディチ コータ ン。
172	祖母が自分で着せたいと言ったので、仕方なく孫に服を着せさせた。	NR【再調査】